

各議員の氏名の左にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。



Q 保育所における紙おむつサブスクリプション型サービスの導入について

公明党越谷市議団 **藤部 徳治** 議員

問 保護者並びに保育士の負担軽減に資するとして紙おむつ、おしり拭きの管理を保護者・保育士間から、保護者・業者間とするサブスクリプション型サービスを導入する考えは。

市長 現在、導入した場合のメリットや課題等について整理しており、今後導入した自治体に対しても、効果等を伺うことを考えている。これらを踏まえて、サブスクリプション型サービスの導入を検討する。



Q 旧蒲生小学校解体工事の地元住民への影響について

日本共産党越谷市議団 **大和田 哲** 議員

問 近隣住民から振動や騒音、粉じんなど、工事の影響による苦情が寄せられた。これまでの対応策と、(仮称)蒲生学園開校まで都合3回の工事の影響がある。市民への十分な対応はできるのか。

教育長 今回の工事の影響で、内壁亀裂やガラスの落下、軒下隙間など、家屋破損が6件生じ、損傷箇所の修繕を実施した。今後の工事の影響については、住民の皆様にも不足のないよう対応していきたい。



Q 糖尿病重症化予防策について

公明党越谷市議団 **和泉田 宏幸** 議員

問 糖尿病の長期治療中断者を対象とした治療の勧奨を新規事業とする考えは。

市長 長期治療中断者等の方へのアプローチの強化は、糖尿病の重症化予防対策として有効と考える。共同事業の主体である埼玉県国民健康保険連合会に見直し要望をしていく。先進事例の調査研究および次期越谷市国民健康保険保健事業実施計画で、独自に長期治療中断者等への対策実施を含め検討する。



Q 激甚化する自然災害に対する避難行動について

こしがや無所属の会 **菊地 貴光** 議員

問 自主避難所をルール化する考えは。

市長 在宅避難に不安のある方への早めの避難行動が取れるよう、他団体の事例を参考に調査研究していきたい。

問 「何でも行政がやる、市民は頼るだけ」ではなく、行政と市民が一緒に災害に立ち向かうよう認識を改めるべきでは。

市長 災害時には、自助・共助が基本であり重要だと考えている。その必要性、重要性を一層周知啓発に努めていきたい。

自主避難所の生活ルール

- 自主避難所では食料品、日用品の提供は行いません。毛布、水、食糧、着替え、ラジオなど生活必需品は、避難者が持参してください。
- 避難所の入所時、退所時ともに避難者名簿等に必要事項の記入をお願いします。
- 指定された部屋以外のご利用はお控えください。また、施設に備えてある備品等には触れないようお願いいたします。
- 自主避難所内は、禁煙・禁酒です(敷地内を含む)。
- 避難者滞在スペースは、22時消灯、6時点灯とします。場所を譲り合って使用してください。また、夜間の出入りはお控えください。
- ペットはケージに入れてください。避難者とは別のスペースを用意します。
- 気象・災害の情報は携帯端末やラジオにて各自での収集をお願いします。
- 自主避難所へ出たごみは、ご自身でお持ち帰りください。

小金井市の自主避難所の生活ルール



Q 教育の質向上と教員の業務軽減について

立憲民主党越谷市議団 **土屋 来夢** 議員

問 MEXCBTの活用は教育の質向上と教員の業務軽減に貢献するものと考えているが、教育長の考えは。

教育長 MEXCBTは国の教育DXの一部として構築され、自治体間でデジタル問題を共有し、自動採点と素早い結果返却、多角的な分析、印刷削減等のメリットがある。本市においても、各学校で教材の質向上と教員の負担軽減を促進するため、MEXCBTの機能の効果を検証する。



Q 市内の病児保育施設における手続簡略化に向けた取り組みの進捗について

自由民主党越谷市議団 **横井 聖美** 議員

問 病児保育施設を利用する際の手続簡略化の進捗状況は。

市長 来年度に向け、病児保育室を利用したい方がいつでも施設の空き状況を確認でき、予約なども行うことができるシステムの導入を検討している。手続の簡略化や利用者の利便性向上だけでなく、施設職員の事務負担軽減にもつながり、保育の質の向上も見込まれると考えている。



Q シェアサイクルについて

越谷刷新クラブ **野口 高明** 議員

問 社会実験を行わずに本格実施を始める都市が増加している。環境にも優しくCO₂排出量実質ゼロ政策への重要な施策と言える。導入や企業支援に向けた取り組みは。

市長 利便性向上、公共交通の補完、地域経済の活性化、環境負荷の低減、放置自転車対策、災害時の交通機能の維持など、社会課題の解決につながる効果が期待できる。関係部局と連携を図る中、シェアサイクルの導入について検討していく。



浦和美園駅郊外のサイクルポート



Q エssenシャルワーカーの処遇を改善し人手不足を解消することについて

日本共産党越谷市議団 **工藤 秀次** 議員

問 エssenシャルワーカーは女性の割合が高い。男女の賃金格差を無くすことが必要ではないか。

市長 人材確保の課題については、現場からの声をいただくことも多い。人材の確保や育成、定着のための処遇改善等については、これまでも国に対して、中核市市長会などを通じて提言を行ってきているが、引き続き機会を捉え、提言をしっかりと行っていきたい。



Q 殺処分ゼロ継続へ向けた取り組みについて

越谷刷新クラブ **松島 孝夫** 議員

問 保健所主催の譲渡会を定期的開催し、犬や猫の譲渡件数を増やす考えは。

市長 譲渡会の定期的な開催は、市民への周知につながることも検討する。

問 市のホームページに動物保護団体のホームページへのリンクを貼るなど、犬や猫の譲渡情報を広報する考えは。

市長 ボランティア団体との協力が必要不可欠であり、ホームページにリンクを貼ることなどについても、前向きに検討する。



Q 有機農業の現状と今後の取り組みの推進について

越谷市民ネットワーク **大田 ちひろ** 議員

問 越谷市での有機農業の現状と今後の取り組みの推進は。

市長 本市で化学肥料や農薬を使用しないなど、有機農業に取り組む農業者は3名把握しており、耕作面積の合計は約2.4ヘクタールで、本市の耕地面積910ヘクタールに占める割合は約0.26%である。今後は、有機農業者の実施する就農体験プログラムの取り組みとの連携、協力も検討したい。